

皆さんへ、

お元気のことと存じます。コロナ、コロナの一年になりましたが、そのまま終わるのも悔しいので、今年もまとめを書いておくことにしました。コロナ禍生活に入る直前に、二人でカナダのイエローナイフという所にオーロラを見る旅行ができたのがハイライトでした。摂氏マイナス30度に達する深夜にツアーバスに乗ってオーロラを見に行ったのですが、圧巻でした。

<由紀子の2020年>

1月までは中国を観戦している病気だったのが、3月以降はCovid-19で始まり、Covid-19で終わる日々が続いています。1月は金沢大学の松田さんを訪ね、輪島塗の工房や温泉、酒蔵などに車で連れて行っていただきました、途中でサスペンスドラマで有名な東尋坊の崖を見に行きました。2月初めにはペンシルバニア大学のバトラー先生と京都と有馬に行きました。いつもは春節で中国から多くの観光客が来ている時期ですが、この時は、全く人がおらず、嵐山も有馬温泉もゴーストタウンのようでした、3月は学会発表がありましたが、キャンセルになるかオンラインになるかでとても寂しい感じ、代わりにかねてから見たかったオーロラを見に行ったのが今年のハイライトになりました。その後すぐ帰国、2週間待機して、7月まで、テレワークで授業をする巣ごもり生活でした。ZoomもTeamsも使ったことはありましたが、授業で使ったことがなかったので、とりあえず講習会に出て突貫工事で学ぶという感じでした。今ではサクサク使えるようになったのが、不幸中の幸いでした。テレワークは今でも続いており、さすがに学生の中には、この形式に疲れていたり、モチベーションが下がっている感じの人も出てきていますが、今年度は仕方がないかなという感じです。4月に始まる頃にはワクチン接種が始まっていることを祈っています。



8月にまた感染が拡大したため、また巣ごもり生活が続きました。9月になって、感染が落ち着いてからは、週末はGo To Travelという政府の旅行支援キャンペーン(旅行代が35%安くなり+お買い物クーポンがもらえる)を使って、月1回ぐらい今まで行ったことがないところを一人で回っています。9月には、京都でもまだ行っていないお寺やお庭、宇治の平等院などを見て回り、その後天橋立や城崎温泉にも行きましたが、この時も人はおらず、町は本当に困っているようでした。その後は感染が上がったり下がったりというものもあり、とにかく感染者が少ないところに行っています。鳥取では、3時間タクシー乗り放題で1000円というキャンペーンがあったので、鳥取砂丘や海岸線、梨狩りに行きました。そのほか、国宝の松江城、玉造温泉、出雲大社など、山陰地方で行ってなかったところに行きました。九州では、かねてから行きたかった弥生時代の遺跡である吉野ヶ里遺跡、北原白秋の生地である堀とウナギの街、柳川、日本三大稲荷の祐徳稲荷神社、佐賀の嬉野温泉、有田、伊万里、唐津と、佐賀県を中心に回りました。嬉野温泉では鳥取を超えて4時間タクシー無料で乗り放題というキャンペーンがあり、公共交通機関では行きにくい有田や伊万里焼の村とか、唐津の鏡屋などもすべて、タクシーで回るという、実に贅沢で感染対策的にも素晴らしい旅行でした。

11月後半からはまた感染が拡大してきて、今は終わりが見えないので、どうなるかわかりませんが、Go To Travel キャンペーンは6月末まで続くそうです(ただし割引率は徐々に下がるそうですが)。

<一味の 2020 年 >

2月は家の内装工事でバタバタしました。カーペットの交換やバスルームを改修してすっかりきれいになりました。



昨年咲きそこなった桜は今年は見事にカンバックして立派に咲きました。残念だったのは、愛でてもらうための花見が出来なかったことです。

3月からは自粛生活に入り、バスケットボールもできなくなり運動不足が深刻になりました。Zoomが流行言葉になりましたが、授業で使うだけでは悔しかったので、落語家さんや友人を巻き込み、Zoomでの日本語学習者向けの落語イベントを目指して走り出したのが、4月でした。結果的に、五回ほど実施して、ヨーロッパやアジア、オーストラリアなどからも

参加できるイベントになりました。(米本さん、濱田さん、ありがとうございました。)

七月は日本に戻り、由紀子と和歌山、高野山に小旅行ができました。8月からの新学期はコロナとの戦いでしたが、パデュューはキャンパスでの授業を継続したので、マスクを付けながらも教室授業を貫くことができました。学生もよくがんばりました。また、オンライン落語の経験を生かして、笹森恵子さん(88歳)とZoomで被爆証言イベントを五回行うことができました。一人でZoomを使いこなしてくれた笹森さんに大感謝です。11月にはロンドンの交流基金主催で日本語教員用に小唄の指導方法のワークショップをしました。その結果、ヨーロッパでの小唄活動の芽が出始めています。やっとワクチンの目処も立ち、来年はもう少し落ち着きそうです。東京オリンピックも開催されることになれば、ボランティアとして参加するつもりです。皆様のご健康、ご多幸をお祈りします。来年はいい年にしましょう。



<チビタンから>

すみません、あたしからの最後のご挨拶になってしまいました。16年間ありがとうございました。12月9日に一足先にミータローが待っている虹の橋を渡りました。夏のミドルベリーでは皆さんによく遊んでもらいました。すこしでも、癒しの時間になっていたら、嬉しいです。皆さん、あたしを可愛がってくれてありがとうございました。お父さんが日本にいる間世話をしてくれた皆さん、お世話様でした。これからは皆さんの記憶の中で生きていきますので、よろしくお祈りします。



以下のURLに寄せ書きを作ったので、チビタンの思い出がある方は是非書き込んでください。チビタンの写真も是非。

<https://padlet.com/khatasa1/2ey35rt8oen3vyg>

一味 & 由紀子 & チビタン

2021年が穏やかな年でありますように。
